



村上 松平 議員
(一括質問方式)

- ① 人口減少問題
- ② 行政改革

保育所徴収料金の見直しについて

問

他市と比較して割高となつて
いる当市の保育料は、子育て
世帯の生活費に少なからず影響し
ているものと考えられる。生活費
などの経済的負担は、少子化問題
の原因の一つとも言われており、
支援などの対策が必要であると考
えるが、この保育料について、減
額するなどの見直しはできないか。

答

保育料については、国の基準
をもとに、各市町村において
算定することとなっているため、
財政状況を勘案しながら、決定し
ています。

来年度については、子ども・子
育て支援新制度施行に伴い、国か
ら保育料の上限額が示されたこと
ろであり、現在、保育料などに
ついて、近隣市町との均衡を勘案し
ながら調整しています。決定に当
たっては、利用しやすい保育料で

あることなども含め、大洲市子ど
も・子育て会議の意見等も踏まえ
ていく考えです。

若手職員を中心とした行政改革プ
ロジェクトチームの設置について

問

若手職員の柔軟な発想や慨世
概念にとられないアイデア
などが活発に議論されれば、新た
な切り口での行政改革ができるの
ではないかと考えるが、このこと
についてどのように考えているのか。

答

合併以降、取り組んできた行
政改革大綱と集中改革プラン
では、若手職員13名で構成する行
政改革検討委員会において調査研
究を行い、窓口カウンターの座席
の設置、利用頻度の低い公用車を
総務課に置いて集中管理する見直
しなどの成果を上げてきています。

また、平成27年度からの第3期
行政改革大綱及び集中改革プラン
の策定においても若手職員による
専門部会では、第3期行政改革の
方向性や行政改革の具体的な項目
について、現在検討を始めていま
す。

今後さまざまな行政改革などを
推進していく上で、若手職員の意
見が十分に活用できるように留意
しながら検討を進めていきたいと考
えています。



武田 雅司 議員
(一問一答方式)

- ① 平成25年度の財政状況
- ② 地域自治組織の再編
- ③ 放置空き家対策
- ④ 改正地方教育行政法
- ⑤ 全国学力テスト結果公表

社会問題化している空き家対
策について

問

空き家は高齢化や人口減少な
どにより、右肩上がりが増えて
おり、地域環境、治安や防災面
から社会問題化しているが、どの
ような対策が必要と考えているの
か

答

予防、撤去、活用の対策が必
要と考えています。
まず、予防策として、行政主導
の実態調査、地域と連携した実態
把握と維持管理、所有者への意識
啓発などが考えられます。

空き家の撤去対策としては、条
例等に基づく改善指導や除却等支
援制度を活用した除却等の促進が
挙げられます。

さらに、有効活用策としては、

空き家バンクや相談窓口等の設置
ノウハウや外部知識の導入、地域
と行政の連携強化も必要であると
考えています。

全国学力テスト結果を基にし
た学力アップについて

問

児童・生徒の生活習慣が分か
る質問紙調査の結果や分析な
ど、学力の改善を底上げされ、指
導力の一層の向上を図ってもらい
たいが教育委員会はどのように考
えているのか。

答

質問紙調査については、県及
び全国平均と比べても、本市
の児童・生徒については非常によ
い結果が出ていますので、今後も、
現在の指導を継続していきたいと
考えています。

子供たちの学力向上については、
今後とも教職員の指導力を高める
研修を実施し、子供たち一人一人
にきめ細かな対応ができる態勢づ
くりを努めたいと考えています。

問

秋田県や福井県をはじめ先進
地への視察を実施したことは
ないのか。

答

秋田・福井県への視察には参
加したことがありませんが、
教育力向上委員会をつくり、そのメ
ンバーを、山口県で開催された研究
会へ派遣しました。今後も先進地の
研修をする予定としています。